

# 一般質問

5名が登壇市政を問う  
\*この一般質問は6月13日に行なわれたものです。

## 港の活用について 病院の広域連携について 消防救急業務の広域化について



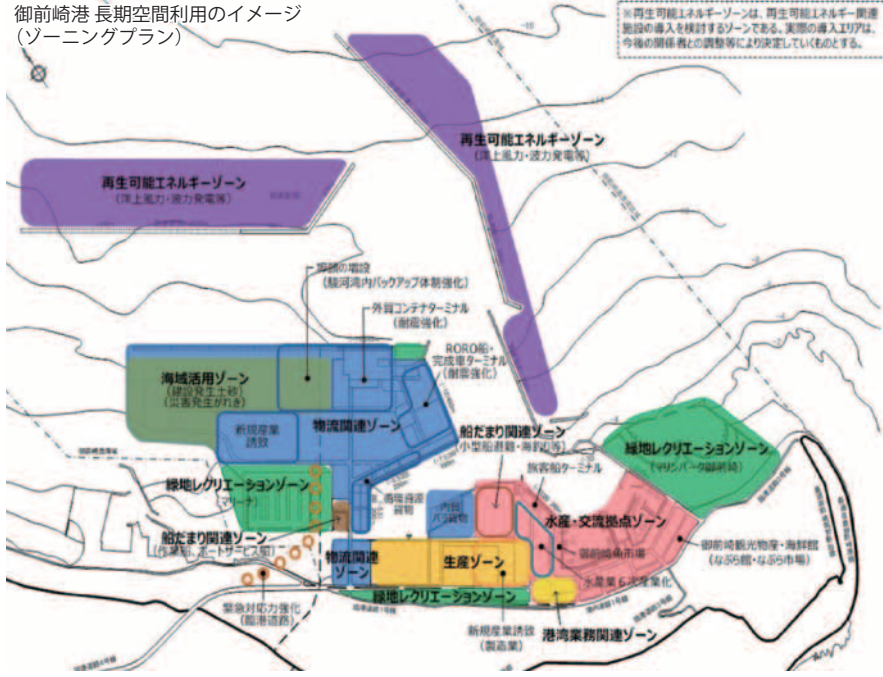
曾根正浩

**問** 県が御前崎港を「再生エネルギーゾーン」に位置付けているが市としての考えは

**答** 県が御前崎港における可能性を模索しているものだと考えております。洋上風力発電、波力発電などの再生エネルギーにつきましては、開発、実証に向けての取り組みができる可能性をもった場所であるという認識を持っており

**問** 医師の減少など厳しい状況が続いているが、広域連携はどのようになっているか

**答** 広域連携につきましては、静岡県地域医療再生計画において、磐田市立総合病院、中東遠総合医療センターを基幹病院とし、御前崎市、菊川市、森町の各病院は後方支援病院



## 小学校陸上大会復活について 市総合計画について



阿形 昭

**問** 平成24年12月議会で、中止されている小学校陸上大会復活について質問したが、その後の経過は

**答** 陸上大会は、市校長会の行事です。平成24年度末の市校長会の席で、一般質問の内容を伝え、陸上大会中止の影響について検証するように依頼しました。



**問** 平成23年8月、地方自治法の改正によって義務付けが廃止された総合計画。市政における位置づけは

**答** 本市の計画策定にあたって、時代の流れを的確に捉え、実効性のある総合計画ができるように研究していきたいと考えております。

**問** 市長の任期に合わせ4年間の総合計画や、優先的・重点的な施策をはっきりさせた総合計画の策定が考えられないか

**答** 本市の計画策定にあたって、時代の流れを的確に捉え、実効性のある総合計画ができるように研究していきたいと考えております。



中東遠総合医療センター

**問** 掛川、菊川、御前崎の3市での東遠消防救急業務の広域化・救急搬送をどのように考えているか

**答** 消防広域事務局及び3市消防担当課長が、東遠地区消防救急広域化に向け、組織体制について協議を継続している状況です。広域的な枠組みの下での病院間の機能連携も視野に入れ、中東遠地域における救急搬送の検討をしております。

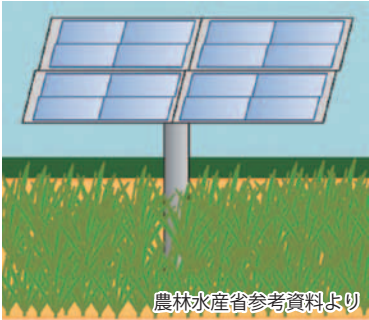
## ソーラーシェアリング農法について



齋藤 洋

**問** 農林水産省通達「支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備等に関する農地転用許可制度上の取扱いについて」の内周知時期及び方法は

**答** 農林水産省もエネルギー政策を進める中で、1種農地において、下部農地で農業生産が支障なく継続される場合は、一定条件の下に売電事業を認める方針を打ちしました。これについては、5月24日、農業委員会定例会の席上で、概略を各委員へ説明しました。基準の詳細が国より示され次第、ホームページなどにより広く周知していきたいと考えます。



農林水産省参考資料より

**問** 前記通達に適合する太陽光発電設備の設置について、農業委員会が許可した場合の「都市計画

## 元気な御前崎市づくりのために



後藤 憲志

**問** 緑地面積率の緩和に望む声があるが、企業二丁の把握と指定可能な区域などの研究検討の結果は

**答** 昨年度実施した企業二丁訪問時には、要望はありませんでした。既存企業の緑地面積の緩和を前提とすると、すべてを地番指定する必要があり。今後企業二丁の把握に努め、対応をしていきたいと考えています。

**問** 裾野市の民間宅地分譲助成事業の実績を見て、当市の考えは

**答** 都市計画における市内の未利用地などについては、再度しっかり把握する必要があると思っております。助成事業を行う以上は多くの事業者に使ってもらえるような政策を進めるべきであり、他市とは違う方法を前向きに検討していきたいと考えています。

**問** 掛川市のパートナーシップ買物券交付事業について、当市の考えは

**答** 市内利益循環型であることを検証しつつ、市商工会とも連携をしながら、調査・検証をしていきたいと考えています。

**問** コミュニティバス試験運行後の施策の方向は

**答** 人口が少ない地域では市民協働により進めていくのがベストであり、地域とともによりよい方法を研究していきたいと考えています。

## 消防庁舎建設予定地について 福祉タクシー券について 断層の再調査と原発政策の転換について



清水 澄夫

**問** 東北の津波は想像を絶する規模、威力で三陸を襲った。危険だと思われる所には重要施設は作らない、これが基本で、消防庁舎の建設予定地を見直す考えは

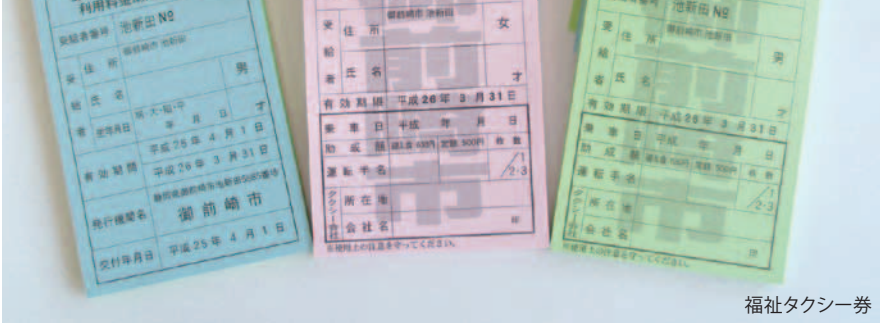
**答** 昨年度8月に提出された内閣府の南海トラフ二次報告では、建設予定地は津波浸水域には入っていません。また、巨大地震は千年以上の低い頻度です。消防庁舎は重要な防災拠点であり、堅固で安全性の高い施設の建設を目指します。建設場所は、予定通り鈴木鉄工所跡地とします。

**問** タクシー券制度の目的は高齢者や障がい者の社会参加が目的で、利用枚数の上限見直しは検討させていただきます

**答** 昨年度8月に提出された内閣府の南海トラフ二次報告では、建設予定地は津波浸水域には入っていません。また、巨大地震は千年以上の低い頻度です。消防庁舎は重要な防災拠点であり、堅固で安全性の高い施設の建設を目指します。建設場所は、予定通り鈴木鉄工所跡地とします。

**問** タクシー券の一度に使用できる枚数を増やす事はできないか

**答** 原子力規制委員会には、新基準に照らして厳格に審査をしていただくことが市民



福祉タクシー券